

第 2 回政府間協議について

1. 開催日程：平成 14 年 1 月 22 日（火）～ 23 日（水）
2. 開催場所：東京国際交流館（お台場）
3. 参加極：日本、EU、ロシア、カナダの 4 極
4. 結果概要：
 - 次の点について議論。
 - ・ITER 共同実施協定についての基本的考え方
 - ・サイト選定の手順についての基本的考え方
 - ・調達配分のスキームについての基本的考え方
 - ・実施段階への移行措置についての基本的考え方 等
 - 今回の政府間協議で明確にした、共同実施協定及びサイト共同評価等に関する議論のポイントについて、2002 年 3 月 19、20 日にモスクワで開催される予定の次回第 3 回政府間協議の前に、更なる検討が行われることとなった。
 - 日本から総合科学技術会議での議論について報告するとともに、各極から次の状況報告があった。
 - ①昨年 6 月に ITER の誘致の提案を行ったカナダは、オンタリオ州クラリントンを ITER サイトとするための公式な許認可手続きの一部として、カナダ原子力安全委員会による ITER 計画に対する最初の公式な評価が 3 月に行われる。
 - ②EU では、フランスの研究大臣が EU に対し、ITER 建設地として欧州サイトが提案されるための条件を明確にすることを求めるとともに、カダラッシュに ITER を誘致するフランス提案を検討するよう要請。また、スペインのサイトを提案する可能性についての検討も行われている。
 - ③ロシアでは、「ITER 国際計画」と名付けられた連邦計画により、ITER は最優先事項の一つとされている。
5. その他
 - 23 日の協議の機会に、ITER サイトとして適性を有するとされた候補地（茨城県那珂町、青森県六ヶ所村）について、各参加極の関係者に説明を行った。

(別添)

第2回ITER政府間協議(N2)参加者

日本	委員	1) 青江 茂	文部科学審議官(代表)
		2) 素川富司	文部科学省官房審議官
		3) 長内 敬	外務省軍備管理・科学審議官組織参事官
		4) 大竹 暁	文部科学省核融合開発室長
		5) 道上尚史	外務省国際科学協力室長
		6) 山口哲弥	内閣府政策統括官付参事官補佐
		7) 岸本 浩	原研理事
		8) 吉川允二	原研顧問(議長)
EU	委員	1) フィンチ	欧州委員会研究総局顧問(代表)
		2) ワトー	仏政府原子力最高顧問付顧問
ロシア	委員	1) ヴィノグラドフ	原子力省第一次官(代表)
		2) ベリコフ	クルチャトフ研究所総裁
		3) ソコロフ	原子力省原子力科学技術本部長
		4) シュチュルバク	科学省本部長
カナダ	委員	1) キャンベル	カナダ天然資源省(代表)
		2) チャーチ	外務貿易省科学技術部上級顧問
		3) ポッター	オンタリオ州政府
		4) スチュワート	ITERカナダ取締役
		5) スリマ	ITERカナダ顧問
		6) ヘミングズ	Canatom NPM Inc.
国際チーム		1) エマール	国際チームリーダー
		2) 下村安夫	国際チーム共同リーダー
		3) バラバスキー	国際チームCP